

交通安全は
家庭から



県交母だより

第36号

福島県交通安全
母の会連絡協議会
発行責任者 齋藤和子
(題字
名誉会長 山崎信子)

第29回交通安全母親福島県大会



県警音楽隊の演奏



齋藤会長あいさつ



山崎名誉会長の講演



会場の様子

第二十九回交通安全母親福島県大会が、令和元年九月五日、川俣町中央公民館において会員約五百名が参加し、「命の尊さ」(交通安全事故ゼロを目指すための母の会活動の強化)をテーマに開催されました。

大会では、交通事故による犠牲者への黙祷、県交母の歌斉唱の後、齋藤会長より日頃の交通安全活動に対する各地区母の会への御礼と活動の重要性を訴える挨拶がありました。

続いて、「山崎信子賞」の表彰が行われ、矢吹町・菊地美枝様、福島市・青木宣子様、二本松市・安齋ミツル様、いわき市・齋藤和子様に表示状及び記念品が授与され、受賞者を代表して安齋ミツル様から謝辞が述べられました。

次に、ご臨席賜りました鈴木正晃福島県副知事様をはじめ多くの方々にご祝辞を頂戴致しました。

オープニングアトラクションでは、県警音楽隊の軽快な演奏を楽しむことができました。

講演では、山崎信子名誉会長を講師としてお迎えし「交母会の果たす役割」と題して、「機械化し多様化してきた社会だからこそ人情溢れる行動が生まれ、「交通安全は家庭から」母の行動が非常に大切になっていく」と、母の会の活動の役割と使命に言及されました。

最後に、大会宣言を承認し、大会の全日程が終了致しました。情熱の花・アンスリウムの展示と販売があり、活気のある花に彩られた大会でした。



あいさつ

福島県交通安全
母の会連絡協議会
会長 齋藤 和子

令和二年の年頭にあたり、十一万余会員の皆様方に心より新春のお喜びを申し上げます。

昨年は、五月一日に新天皇陛下が即位され、新しい時代の「令和」が始まり、誠に喜ばしいスタートを切ったところでございます。今後当母の会も、令和の元号にふさわしい「美しく心寄せ文化生まれ育つ」活動を推進したいものと思っております。

このような中、会員の皆様方の公私にわたるご活躍とご協力により、数多くの実績を上げられ、初期の目的が達成されたことに対し、改めて御礼を申し上げます。

さて昨年は、各地域の母の会活動を推進する中、十月の台風十五号、十九号等により多くの市町村の皆様方が大被害を被り、その対応に心悩ませたものご察し致します。会員の皆様方の中にも避難を余儀なくされたり、負傷したりした方もお出でになったかと思えますので、衷心からお見舞い申し上げます。

今年も、当連絡協議会発足の原点に帰った「交通安全は家庭から」の基本活動を地道に推進するとともに、三年目を迎える「山崎信子賞」の定着化と、来年本協議会発足五十年を迎える記念事業の準備に粗相の無いように頑張つて参りたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

会員の皆様方の益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、挨拶と致します。



【猪苗代町交通安全母の会】
R元.10.15 ヨークベニマル猪苗代店



【福島市交通安全母の会】
R元.10.15 国道13号福島北警察署入口交差点



【二本松市交通安全母の会】
R元.11.1 ベイシア安達店



【会津若松市交通安全母の会】
R元.10.15 主要地方道会津坂下・河東線



県下一斉街頭活動

※紙面の都合上、一部の市町村のみ掲載しています。



【南会津町交通安全母の会】
R元.10.15 東北電力田島営業所前交差点



【矢吹町交通安全母の会】
R元.10.15 国道4号矢吹中町交差点



【相馬市交通安全母の会】
R元.10.2 相馬市民会館前



【南相馬市交通安全母の会】
R元.10.15 小高区役所前

各市町村交通安全母の会では、県交母事業の他に、各会員がマスコットや交通ルールに関する用具を作成し、高齢者や幼児、ドライバーに配布するなどの活動をしております。
「やさしい声かけ」「やさしいマスコット」をいただいた方が交通安全を思い出してもらえるように、母親の立場から地域に根ざした活動をこれからも継続していきます。

市町村からこんにちは 市町村交母の取組



山崎信子名誉会長

「山崎信子賞」表彰

九月五日、川俣町中央公民館で開催された第二十九回交通安全母親福島県大会の席上、「山崎信子賞」第二回目の表彰が行われました。

この賞は、長きにわたり他の模範となり交通安全活動に尽力



受賞する青木宣子さんの代理(右)



受賞する安齋ミツルさん(左)



受賞する齋藤和子さん(左)

されてきた山崎信子氏の功績を讃え、未永く後世に引き継ぐため、交通安全活動に特に顕著な功績があった個人や母の会を表彰し、交通安全運動をより一層推進していくことを目的に創設されたものです。

選考委員会で協議、決定された四名の方に、顕彰委員会委員長である齋藤会長より表彰状が授与され、山崎名誉会長から記念品が贈呈されました。

として積極的にご活躍され、さらには、県交母役員としても献身的に尽力されております。
「山崎信子賞」受賞、誠にありがとうございます。

- ・菊地 美枝氏(矢吹町)
- ・青木 宣子氏(福島市)
- ・安齋ミツル氏(二本松市)
- ・齋藤 和子氏(いわき市)



発表の様子

今までの経験からの話は、分かりやすく引き込まれ、あっという間でした。その後、グループ討議に入りました。
「子ども」と「高齢者」の十三名位の八グループに分かれ討議が始まりました。各グループとも、和やかに活発に進められておりました。

このグループ討議では、自己紹介、役割分担、意見交換、まとめ、と参加者全員が発言したほか、要点をはっきり、相手の意見も尊重し、明るい前向きな態度で、など進め方についても、研修として意義あるものでした。



グループ討議の様子



金澤幸生先生の講話

子どもと高齢者の交通安全リーダー研修会

令和元年六月二十七日「子どもと高齢者の交通安全リーダー研修会」が郡山市の安積総合学習センターにおいて開催されました。これは、交通安全母の会会員の交通安全に対する意識の高揚と資質の向上を図り、地域における交通安全活動のリーダーを育成することにより、子どもと高齢者の交通事故防止を図ることを目的として毎年開催しております。

県内各地より会員約百二十名の参加がありました。齋藤会長の挨拶の後、福島県警察地域安全活動アドバイザーの金澤幸生氏を講師に招き、「子どもと高齢者の安全・安心について」と題して講話を頂きました。自前のマイクを付け、自作の心のこもったレジュメを用意してくださり、「亥年で魚座のB型、今年の三月まで三十八年間おまわりさん、刑事として勤め、今はただのおじさん」と話が盛りまりました。

子どもは笑顔で接する、挨拶や指導時など負担にならない活動にする等々
高齢者へ運転に代わる足の確保、運転免許証の自主返納について、横断歩道の渡り方、夕方や夜間の外出時のこと、キケンマップを作る等々
最後に、講師をコーディネーターに質疑応答もあり、山崎名誉会長から講評を頂きました。心くばりとやさしさに包まれた研修会でした。

第四十八回通常総会

令和元年五月二十一日、第四十八回福島県交通安全母の会連絡協議会通常総会が福島市の杉妻会館にて開催されました。

始めに、交通事故により亡くなられた方々のご冥福をお祈りし黙とうを捧げた後、「県交母の歌」を斉唱、山崎名誉会長、齋藤会長の挨拶が進行されました。

次に、長年にわたり顕著に母の会の活動を進めてきた優良市町村交通安全母の会二団体、優良交通安全母の会会員二十名、退任役員一名に、齋藤会長から表彰状の贈呈が行われました。

続いて、本協議会に多大なご協力を頂いております一般財団法人福島県自動車会議所様、小林豊子さまの学院東北本部福島講師会様、山崎甚二郎様、石川トミ様に齋藤会長から感謝状が贈呈され、受賞者を代表して二本松市の佐藤洋子様から謝辞が述べられました。

また、福島県副知事井出孝利様ほか、多数のご来賓の方々にご臨席を賜り、ご祝辞を頂きました。議事では、令和元年度事業計画及び収入支出予算、会則の一部変更について滞りなく審議され、満場の拍手によりすべて承認されました。

最後に、交通安全功勞により県知事表彰を受賞された元常任理事の菊地吉野様にお祝いの花束贈呈があり、これをもって通常総会が閉会しました。

表彰受賞の様子



齋藤会長あいさつ

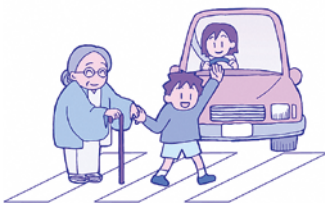
交通安全トピックス

令和元年10月にJ A Fが公表した調査結果によると、信号機のない横断歩道に歩行者がいる時にドライバーが一時停止する割合は、本県は8.7%と、全国平均を大幅に下回る結果となりました。

福島県 8.7% (全国ワースト9位)
全国平均 17.1%

横断歩道は歩行者が優先です。横断歩道を渡ろうとする歩行者がいる時は、手前で一時停止し、その通行を妨げてはならないと道路交通法に定められていますので、必ず停止しましょう。

交通ルールとマナーを守り、ゆずりあい、思いやりのある運転を心掛け、交通事故をなくしましょう。



交対協の行事に参加しました

春の全国交通安全運動オープニングセレモニー

5月10日、J R福島駅東口駅前広場にて、春の全国交通安全運動を展開するに当たり、県知事をはじめ多数のご来賓が出席し、オープニングセレモニー及び街頭啓発キャンペーンが実施されました。県民の交通安全意識の高揚を図るため、当連絡協議会からも齋藤会長が参加して市民に反射材を配るなど、交通事故ゼロに向けて大いにアピールをいたしました。



オープニングセレモニーの様子

第58回福島県交通安全県民大会

第58回福島県交通安全県民大会が10月11日に福島市のバルセいいざかで開催されました。



大会宣言を行う齋藤会長

福島テレビアナウンサー浜中順子氏の講演の後、福島県知事等から永年の功績に対して各表彰が行われ、最後に、当連絡協議会の齋藤会長が大会宣言を行い、大きな拍手で承認されました。

編集後記

平成から令和へと新たな時代を迎え、会員の皆様には、各種事業等にご協力をいただき、誠にありがとうございました。

さて、令和元年は、多事・多難の年でもございました。収穫期の十月に発生しました台風十九号・豪雨災害では、県内各地で大きな被害を受け、会員の皆様の中にも、被災された方が多くいらっしゃることと存じます。被災者の皆様の心境を悼み、心よりお見舞い申し上げます。

災害の中にある今こそ、交通安全母の会の基本理念である「交通安全は家庭から」のスローガンのもと母親の力を結集し、人々の心を支え合う絆づくりにより一層取り組むとともに、交通事故のない社会を目指し、歩行者・ドライバーの皆様「命大切に」を呼び掛け、交通事故防止に努めて参りましょう。

今後とも、一人ひとりの尊い命を守る活動にご協力をお願い申し上げます。

表彰

- ★福島県知事表彰
元常任理事 菊地 吉野 さん (会津美里町)
★交通安全功勞者 交通対策本部長表彰
鏡石町交通安全母の会